

ロボットの普及促進へ

党県、市議団 開発・製造現場を視察

神奈川・座間市



ロボットハンドを視察する党神奈川県議団と党座間市議団

公明党神奈川県議団

(鈴木秀志団長)と党

座間市議団(小野たつ

子団長)は8日、座間

市内のロボット開発・

製造現場を視察し、関

係者と意見を交わし

た。一行が訪れたのは、

生産工場の自動化・省

力化機器や大学・研究

機関向けの実験・実証

機器、福祉機器などの

開発・販売を行うタプ

ル技研株式会社(和田博代表取締役)。

同社は、プロッコリ

ーや液体が入ったビニ

ール袋など、複雑な形

や、形が安定しない物

体をつかむことができ

るロボットハンド「D

l-Hand」を開発。

2012年度の神奈川

工業技術開発大賞を受

賞した。

ロボットハンドは一

つのモーターで3本の

指を動かし、つかむ物

の形に指がなじむこと

が特徴。物の形を感知

するセンサーなどはな

く、それぞれの指と関

節がリンクして一つの

関節が止まると次の関

節が動くことで、どん

な形にも適応する。

介護ロボットや義手

としての活用をはじめ、災害現場や水中で

作業するロボットに取り付けて利用するな

ど、幅広い分野で応用できる可能性が高い。

このほか、障がい者などの読書を補助する

自動ページめくり機

「リーダふる3」の製

造・販売も手掛ける同

社の和田代表取締役

は、座間市など9市2

町が今年2月に「さが

みロボット産業特区」

に指定されたことに言

及。「ロボット技術を

開発する上で、特区と

してのメリットや効果

を示した。

これに対して一行

は、介護や生活支援な

どに役立つロボット技

術の開発・普及を促進

するため、必要な支援

に全力で取り組む考え

を示した。